

項目	昭和三年七月	昭和四年七月	昭和五年七月	昭和六年七月	昭和七年七月	昭和八年七月	昭和九年七月	昭和十年七月	昭和十一年七月	昭和十二年七月	昭和十三年七月	昭和十四年七月	昭和十五年七月	昭和十六年七月	昭和十七年七月	昭和十八年七月	昭和十九年七月	昭和二十年七月	
一																			
二																			
三																			
四																			
五																			
六																			
七																			
八																			
九																			
十																			

組織宣传部報告

昭和三年七月
至四年七月

(一) 組織宣传部本年度の実績は打り續く財界の不況と争議紛議に勢力を制するべく
 必すしも誇り可き効果も挙げ得た。だが川口金庫の干渉若日本運輸の教
 育を獨立せしめ又労働争議を通じ且つ一方に資本の攻勢に闘ひつ、種々の有
 志動はくりかへされた。特に秋之組合に勢力をさきつ、も市会聯合、建設機
 関に動員し間接的に組織運動を進進を助成したことも記憶にと存する。

(二) 宣傳運動は五月、六月、七月を中心として全面的に決行された。更に組織上の有
 限なものには小松川製糖工支部が改正取締会社の解散に依つて、その解散
 を期することである。小松川地方の一大勢力の一部が職が罷たるとは、偏に制
 行のこともである。
 城西と三ノ王支部は一將孤が組合から除籍された。然るに昨年度大会以後の一
 二種事(八月十九日)の未だに依つて復帰した。